

第3回伊豆市総合計画審議会議事録

会 議 名	第3回伊豆市総合計画審議会（部会別会議）	
開催日時	平成22年9月22日（水） 午後7時～9時30分	
開催場所	第1部会	修善寺生きいきプラザ 第1会議室
	第2部会	修善寺生きいきプラザ 第2会議室
	第3部会	修善寺生きいきプラザ 第4会議室
出席委員	第1部会	飯倉清太委員、梅原正行委員、遠藤正寿委員、 金刺甚一郎委員、川口一男委員、紀平章代委員、 小柳布佐委員、塩谷尚司委員、鈴木延尚委員 【9名】
	第2部会	遠藤剛委員、大川孝委員、小川道雄委員、 勝又利子委員、菊地智春委員、小森泰信委員、 鈴木博美委員、田島和義委員、野畑宗雄委員 【9名】
	第3部会	石渡辰夫委員、工藤安男委員、佐藤傳委員、 鈴木富喜委員、原京委員、樋口活人委員、 藤井正裕委員、三須重治委員、湯川理恵委員 【9名】
伊 豆 市	第1部会	佐藤副市長、鈴木健康福祉部長、山本市民環境部長、 久保田議会事務局長、鈴木土地対策課長、山下上下水道課長、 杉山農林水産課参事、宿崎健康増進課長、小野社会福祉課長、 遠藤長寿介護課長、山口こども課長
	第2部会	潮木土肥支所長、鈴木観光経済部長、小川建設部長、 山口防災監、佐藤建設課長、
	第3部会	遠藤教育長、鈴木総務部長、間野教育委員会事務局長、 鈴木学校教育課長、大城生涯学習課長、山下文化振興室長
事 務 局	第1部会	大川企画財政課長
	第2部会	堀江主幹
	第3部会	杉本主任、廣瀬副主任
議 事	1	開会
	2	部会長・副部会長挨拶
	3	議事
		（1）後期基本計画素案について
	4	閉会

第1部会

1. 開会

大川企画財政課長

2. 部会長・副部会長挨拶

遠藤正寿部会長、金刺副部会長

3. 議事

(1) 後期基本計画素案について

【質問・意見等】

委員) 市の財政も厳しく、医療費抑制という観点からも予防対策の推進をもう少し力強い文面で進めていった方がよいのではないか。【箇所：1-1-⑤】

健康福祉部長) 具体的な取り組みは今後事業実施の中で検討していきたい。健診の受診率が上がらない限りは健康につながらない。そのためには、まずは健診を受診してもらいたい。その方策として自己負担がなければいいかもしれないが、やはり、自分の体は自分で保つということもあり、自己負担は必要であると思う。財源等も考慮しながら、基本的には自己負担を存続させながら、違う方法で市民に健康の啓発等を進めていければと考えている。

委員) 予防接種については、新しいものが増えてきているが、市の方ではどうなっているのか。【箇所：1-1-⑤-(4)】

健康福祉部長) 基本的に自己負担となる。函南町、伊豆の国市と伊豆市とで協調して、来年から子宮頸がんの予防ワクチンをやろうとしている。自己負担はまだ決まっていないが、市の財政や近隣の状況をみながらやっていく必要があると思う。肺炎球菌とヒブワクチンは2市1町で詰めていないので、追々詰めていくことになると思う。

委員) 最近若い母親と話をする、どこのまちではいくら貰えるといったことを意外と調べている。最低でも三島市と同じくらいは、市でも負担して欲しい。近隣どこも同じというのが理想である。【箇所：1-1-②-(1)】

健康福祉部長) その通りだと思うがそれが難しい。いかに早く子育て支援を助成するかの競争になっている。市長と話して行きたい。

副市長) この件については、市長とよく話をしている。乳幼児医療もそうで、国・県へお願をしているが現状ではイニシアチブをとるところがない。市として出来る限りやって行きたいと思うが、旧田方郡の中で他市に比べて遅れているところもあるが、進んでいるところもあるので、足並みをそろえてきたいと考えている。

- 委員）市が実施している様々な取り組みを知らないことが多いように思う。取り組みに関してもっとオープンにしてほしい。情報の共有を。【箇所：全体】
- 健康福祉部長）様々な取り組みやその結果をお知らせしていくべきだと思う。広報やホームページ等を活用しているが、完全ではない部分もある。ホームページも随時更新というのがなかなか難しい状況もあり、その辺りをカバーしていくしかないと思う。広報広聴をもっと充実させていきたいと思う。
- 委員）先日、マイクロソフトの遠隔地医療の話聞いてきたが、中山間地域や過疎地での地域医療にはクラウドシステム等の対応をしていくべきではないか。先ほどの子育ての金額で勝てないのなら、先端の技術で勝っていくしかないと思う。【箇所：1-3-③】
- 健康福祉部長）そこまで市では計画していないが、県の方で今年医療保健計画を見直しており、その中でへき地医療として、ネットワークを組んで安心安全を保つということがある。この中に入れられなくはないと思う。
- 委員）成年後見制度についてももう少し詳しく説明してほしい。【箇所：1-3-③-(2)】
- 長寿介護課）認知症の方が施設に入所したり、金銭管理ができないという時に、後見人が代理で契約をしたり、財産管理を行う。相談については地域包括支援センターの社会福祉士で受け付けている。
- 委員）自立支援協議会について説明してほしい。【箇所：1-4-現況、①-(3)】
- 社会福祉課）自立支援法に基づき、障がい者を取り巻く問題、地域の課題を、この協議会で話していこうということで、現在立ち上げをしている。
- 委員）市内の障がい者の方の平均賃金はいくらか。授産施設への発注奨励金等の制度があること等を周知し、もっと企業へ働きかけていけば、増えてくるのではないか。【箇所：1-4-①-(2)】
- 社会福祉課）県の方では3万円を目標にしているが、伊豆市では、作業によるが1万円となっている。仕事がなかなか無いのが現状である。
- 委員）施設サービスの待機者と保育園の待機者は現在何人くらいになるのか。【箇所：1章の指標】
- 健康福祉部長）施設サービスについては、県が調べたデータによると、約80名、即時入居の必要な方が20名程度となっている。こちらについては、必要であれば介護保険事業計画で定員を増やし、それに見合った保険料を皆さんから徴収をしていくことになる。保育園の待機児童は0人となっている。

委員）まちづくり指標とはどうやって作っているのか（出生数や、老人クラブの登録者数について）。【箇所：1章の指標】

委員）現実として老人クラブは増えていない。どうやって魅力を出していくのか難しいところである。

こども課）出生数の目標値は、少子高齢化であるので300とか400がよいのだろうが、21年度の165人というのは伊豆市始まって以来最低の数字。伊豆市になってからの5年間の平均は198人。当初は230人だったのがここ2～3年では180前後となっている。そこから2合併時に戻すということで200人を設定した。200がよいのか300がよいのか、皆さんから意見があれば、その数字を出したい。今のままでいけば10年後には90人となる見込みである。

健康福祉部長）伊豆市では1万700人程高齢者がいる。県老連でも老人が老人を支えるということを取り組んでいきたいということもあり、そのために会員を増やしたいという期待がある。やはり魅力ある老人クラブづくりをしていく必要があると考えている。

委員）県が始めた森林税は当初5年間の時限立法だったがどうなっているのか。【箇所：3-1】

市民環境部長）先日の新聞で、県の当局の方から延長の条例を出すという情報が入った。

副市長）このまえの新聞で、11月の県議会で延長されるということが記事になっていた。形態は変わるかもしれないが、基本の部分は残っていくのではないかと思う。

委員）ISOやエコアクション21などを市役所が取得する取り組みを想定しているのか。せめてエコアクションの取り組みをして市民へ発信していくべきと思う。【箇所：3-2-⑤】

市民環境部長）環境基準の取得に関しては現時点では計画していない。今後検討していく必要があると思う。一事業所として取り組んでいく必要がある。

副市長）エコアクションはISOに比べて費用はそんなにかからないと思う。市の姿勢としては⑤のところで示していきたい。

委員）環境意識の向上はどうやってすすめていくのか。コカ・コーラや大塚製薬などが取り組んでいる、食品容器環境美化協会のアダプトプログラムのようなものを利用することなどを考えているか。【箇所：3-2-②-(1)】

市民環境部長）美化運動については、合併前からもともと各地域で行われてきた活動を統一的にやっていきたい。学習については、現在の取り組み状況をお話しさせていただくと、学校へ職員が出向いて市の取り組みについてを説明している。こういったところを充実していきたいと考えている。民間企業の取組も参考にさせていただく。

委員）水質・水源の保全について、水を守るのはどちらがよいのか、そういうものがほしい。治山、林業とあるが、自然環境の方になるのか。【箇所：3-3】

農林水産課参事）3-1の自然環境の分野に盛り込むよう検討する。

委員）②の(3)地域居住における新たな提案について良いとは思いますが、そういう方が増えると市の負担が増えるということにならないか。【箇所：3-4-②-(3)】

土地対策課長）直接市がやるというより、民間活力を用いて交流人口を増やしたいと考えている。例えば、長泉のがんセンターの職員の方などに週末の余暇として利用して頂くことなど。交流人口を増やすことが定住への第一歩と考える。

副市長）ウィークエンドハウスは週末だけのもの。一部の地域では高齢者が増えてしまい医療費等が増加したという事例も聞いているが、これは老人マンションではなくセカンドハウスのようなもので使ってもらい、だんだんと足場を伊豆市に移してもらっていくと最終的に定住となる。その人たちが高齢化していく可能性はある。

委員）アイデア地域づくり活動はできるのか。【箇所：3-5-①-(3)】

市民環境部長）現在、単独の補助事業や宝くじ関係の補助があるのでそういった制度を利用してもらいたい。今年自分達の持っている公園にナイター設備をつけるということがあった。

副市長）補助制度があるので活用してもらいたい。

4. 閉会

遠藤正寿部会長

第2部会

1. 開会

堀江主幹

2. 部会長・副部会長挨拶

小森部会長、菊地副部会長

3. 議事

(1) 後期基本計画素案について

【質問・意見等】

委員)「サイン類」とは、どういう意味か。読んで市民に馴染みのある表現にした方がよい。【箇所：2-1-①-(1)】

観光経済部長) 主に案内看板のことを考えている。「案内標識」という言葉へ変更する。

部会長) 観光圏についても市民に馴染みがないと思うので、注釈をつけたほうがよいのでは。【箇所：現況、2-1-②-(1)】

観光経済部長) 「観光圏」についての注釈を入れる。

委員)「観光スポットについて、」の「について、」は削除してもよいのでは。【箇所：2-1-⑤-(4)】

観光経済部長) 削除する。

副部会長) 他所では地元業者で地場産の木材で一棟建てるときに補助金などを出しているが、販路推進の意味からも、市はそのような予定はあるのか。【箇所：2-2-⑤】

観光経済部長) 県に県産材利用措置事業というものがあるが、新建材での建築が中心であり、利用者があまりないようで、県の事業仕分けで廃止と判定された。木材販路拡大の中で、木材市場のパイプをつくる事業を行いたい。住宅建築の補助については、若者定住促進ということで100万円の補助を現在行っている。

副部会長) 森林の外国資本の進出(水源地の確保)について、市町村単位で対策を考えていかないといけない、計画に関係するかはわからないが。【箇所：2-2-⑤】

観光経済部長) 民民の売買になるので、市が介入できないのでどうしても手遅れになる。開発や大規模な伐採には市の許可が必要になるので食い止められる。

部会長) 市としての、こういうことをしてでも山を整備していくというものがないという印象を受ける。【箇所：2-2-⑤】

観光経済部長) ここでは林業を「業」として振興していく項目としており、森林整備については、

14 ページの 3-1 に自然環境の保全として、位置づけている。また、「森の力再生事業」などで間伐を進めている。今後は団地化も考えている。

委員) 国策になるが、林道整備に積極性がなく、搬出に課題がある。一市ではできないが、林道をつくり木材を容易に搬出できるシステムを構築するのが大事では。【箇所：2-2】

部会長) 林道整備については、⑤-(4)に記載されている。

委員) ウェルネス産業の施設はどんなものがあるのか。TO-JI も関係施設はどんなものがあるか。委員として知りたい。【箇所：2-3】

観光経済部長) 施設を置くというのではなく、いろいろな観光施設や事業を健康と結び合わせて、産業を生まれるように手助けしていくこと。

委員) 健康食品の材料になるようなものを地元で栽培していくとか、そういう具体的なことはここでは入ってこないか。【箇所：2-3】

観光経済部長) ウェルネスという部分が、栄養・運動・休養とか、そういう表現になるので、具体的なことはここでは入ってこない。これから5年は健康づくりとしてウェルネスを捉える。健康増進という観点で医者等に参画してもらいメニューづくりをしたいということで、載せている。

部会長) 総合案内所と書いてあるが、やるのか。【箇所：2-3-主要事業】

観光経済部長) 総合案内所を修善寺駅につくりたいという計画でいる。着地型の観光案内もしていきたいということで、総合案内所になる。

委員) もっと市民に宣伝する方法を考える必要があるのでは。市民が積極的に利用できるよう PR していくべき。【箇所：2-3】

観光経済部長) 今まで、TO-JI 博を中心にやってきたが、市民の参加は少ない。そういう意味で、いろいろなメニューを作りたい。市民に参加してもらうために、お医者さんのご意見などを参考に、何かできないか考えている。市民の健康づくりへの貢献として、②-(1)に記述している。

副部会長) 人材の発掘は、どのような人が対象となるのか。発掘だけではなく、育成をどうしていくのか。また、人材はあくまでボランティアか。【箇所：2-3-①】

観光経済部長) 現在人材バンクに登録されている 22 人はお風呂を利用して健康づくりを指導してくれる人たち。目標の 120 人の中では、ハイキングガイドや街中のガイドも併せて人材バンクに登録したい。また、元看護師さんを人材として登録したいと考えている。市民には格安で提供するが、市外でもこういうメニューを利用しにきて

くれる方がいるので、その時は、ボランティアではなく日当が払えればと考えている。

委員）行政として、企業誘致する場合は整備をしてから呼ぶのか、企業が100%資金を投下して整備するのか。【箇所：2-4-①】

観光経済部長）今後5年間でやることは、優遇策の研究。市の用地に空きが出てくる可能性があるので、そこに誘致できたらと。企業が有利な条件で、買うなり貸すなり誘致できれば。

委員）ひかり号の増発と併せて、東海道の快速アクティのようなものを、修善寺駅までひっぱりよう、要請できないか。（特別料金のかからない、快速電車の誘致）【箇所：5-1-④-(1)】

事務局）快速電車誘致の要請について、近隣市町と話をさせていただいて、次回までに検討する。

委員）残土の処分場のことは、わざわざ書く必要はあるのか。主要事業で載せてもいいのでは。【箇所：5-1-①-(1)】

建設部長）残土処理は課題となっている。処分場が確保できないと天城北道路ができない。記載方法については検討する。

委員）（清掃活動）に「等」を入れてはいかがか。清掃活動に限られてしまう。【箇所：5-1-市民一人ひとり】

事務局）そういう形で入れさせていただく。

委員）「規制・誘導を進めます」とはどういうことか。【箇所：5-1-②-(2)】

建設課長）設計者や業者に対して、利用者の利便性を考えて規制・誘導を進めるということ。ただし、「指導」などの表現変更を検討する。

部会長）生徒のバス無料化は、ここの5-1の項目でよいのか。【箇所：5-1-④-(2)、主要事業】

事務局）学校再編に伴い、企画財政課と教育委員会で協議しながらバスの無料化を検討している。学校教育にも関わるが、新たな公共交通施策にも位置づけさせていただいた。

部会長）GISの経費削減というのは役所の視点での話か。【箇所：5-2-②-(2)】

建設部長）はい。道路台帳や土地台帳などシステムに取り込むことにより、管理等を一元化

することで経費削減を図るものである。

委員）違法駐車のことをあえて記載しなくても、「交通渋滞を緩和するため」とかだけの表記でもよいのではないか。【箇所：5-3-①-(1)、課題】

建設部長）表記の方法について検討する。

委員）「活性化などに参画する」とはどういう意味か。「検討に参画する」なら意味はわかるが。何に参画するのか。【箇所：5-3-市民一人ひとり】

観光経済部長）表記の方法について検討する。

委員）個人情報保護の問題と要援護者台帳は関連してこないか。台帳はどこまで共有するのか。【箇所：5-4-⑤-(2)】

防災監）台帳への登録は、民生委員や区長を通して周知し、本人の意思による手挙げ方式で登録している。台帳は区長、民生委員で共有する。区長の関係から、自主防災組織は共有することになる。

委員）防災訓練する場所、避難場所は本当に今のところでよいのか。見直しが必要なのではないのか。⑤-(1)あたりにうたえないか。【箇所：5-4-⑤】

防災監）次回までに検討する。

委員）準用河川の指定とはどういう意味か。【箇所：5-4-①】

建設課長）伊豆市が管理している河川は準用河川と普通河川。1級・2級河川を県が管理している。河川法を準用するために、準用河川を指定している。

委員）「(清掃活動)」に等を入れた方がよい。【箇所：5-4-市民一人ひとり】

事務局）そういう形で入れさせていただく。

部会長）ハザードマップは一人ひとりで作るのか。【箇所：5-4-市民一人ひとり】

副部会長）市ではマップはつくっていないのか。

委員）「作成」ではなく、「作成協力」では。

防災監）合併時に旧町単位でのマップを作成した。

観光経済部長）地域ごとの詳しいマップを、地域の人たちでつくっていきこうということである。

副部会長）消防団員数の目標値が下がるというのは、どういうことか。（人が減る中で650人を確保したいという意味で了解。）【箇所：5-5-指標】

観光経済部長）人が減る、特に若者が減るという見方。

部会長）「相談スペースの設置」はやるのか。【箇所：5-5-④-(2)】

観光経済部長）消費者相談を毎週木曜日に市民課で行っている。そういったスペースを確保したい。

4. 閉会

小森部会長

第3部会

1. 開会

杉本主任

2. 部会長・副部会長挨拶

原部会長、藤井副部会長

3. 議事

(1) 後期基本計画素案について

【質問・意見等】

委員) これらの計画を進めるにはどうしても個人情報保護の問題がひっかかる。難題だと思う。市としてどう考えているか意見を伺いたい。【箇所：全体】

総務部長) 最終的には、対象者の方にご理解をいただき了解をもらうことが大前提となってしまう。防災に関する名簿等も対象者の同意を得て作成している。

学校教育課長) 学校等の名簿や連絡網については、同意を得た上で必要最低限の情報を掲載するようにしている。

委員) 現況、課題にも記述されているとおり、まちづくりや地域づくりに若者が参画できるよう促して行ってほしいと思う。【箇所：4-1 現況、課題】

部会長) 是非、若者の代表などの参画を進めて行ってほしい。

委員) 「伊豆サロン」が若者などの連携の場ということはわかるが、もう少し説明が必要ではないか。【箇所：4-1-①-(3)】

総務部長) 「伊豆サロン」は仮称であるが、内容としては高校生やNPOなどの団体等が交流や活動の拠点として利用できる場を提供しようと考えている。注釈を加える。

委員) 若者が定住する施策重要。それには計画づくりなどに若者の声や意見を積極的に取り入れていく必要があると思う。【箇所：4-1】

部会長) ①の基本事業によって、人材育成や若者の声を市の施策に取り入れていこうという取り組みであろうと思う。

委員) 学校跡地の利用について計画に盛り込むべきではないか。【箇所：全体】

教委会事務局長) 学校跡地については、地域の実情や地元の意見等を含めて有効利用していきたい。個別の分野での限定的な記述は、誤解を招く恐れもあるのでできない。

総務部長）有効利用していくことは当然のことであるが、現時点で具体的な活用方法を計画に盛り込むことができないことから、6-2-②-(4)の「市営施設の効果的な管理」の中でそれらも含め進めていく。

委員）通学合宿は大変すばらしい取り組みであり、是非全市的な取り組みとなるよう進めてほしい。【箇所：4-2-②-(3)】

委員）学校と連携した講座の推進とあるが、行政と学校というものが連携して具体的に講座ができるものなのか。【箇所：4-2-①-(4)】

生涯学習課長）現在、土肥高校にお願いして市民を対象としたパソコン講座を開いている。伊豆総合高校にもお願いして実施の方向で計画している。

委員）子供を育てる上で、親の責任という部分が非常に大きいと思う。朝食をしっかりと食べさせることや虐待の問題など、そういう面では親の教育ということもテーマとしてあると思うが、その辺りの記述がないが。【箇所：4-3】

教委会事務局長）確かに指摘されていることであり、必要なことではあるが、学校教育という分野であるため記述していない。

教育長）明確に文章として表すことには難しい部分もあるが、②の基本事業の中に表現できるか検討する。

副部長）地域の食材を給食で利用していくとあるが具体的にはどのようにやるのか（窓口や発注など）。子供たちに今日はどこで作った野菜を使っていますよというような周知なども進めてほしい。【箇所：4-3-④-(2)】

学校教育課）窓口は、各給食センターなどの栄養士。発注は地元の生産団体や農協などに取りまとめてもらったものを購入するなどしている。給食時に放送や看板などで、地元の食材を利用していることを子供たちに伝えている。

委員）文化協会の自立をどうして求めているのか。【箇所：4-4-②-(3)】

文化振興室長）市長の考え方もあり、できれば法人化していただき、独立採算でやっていただきたいということからであるが、文化協会の活動が採算ベースにのるかという面では難しい部分もある。目的としては、伊豆市全体の文化振興の底上げが最大の目標であり、今後どのような支援ができるかを検討していく。

委員）全体的にも言えることだが、どれからやるのかというような優先順位的なものを表現の中に入れてもいいのではないかと思う。【箇所：4-5】

委員）まちづくり指標の中に、「国際交流協会」という表現があるが「交流協会」が正式である。修正願いたい。計画の項目的には大筋網羅されていると思う。【箇所：4-6
まちづくり指標】

委員）市民が主体となるまちづくりは重要であるが、なかなか市民の参画が進んでいないように思う。手法等を検討しもっと進めていってほしい。【箇所：6-1】

委員）市民への周知や意識付けが重要であると思う。そうすればまちづくりに参加する方々も増えるのではないか。

委員）もっと市民が参加する行事があってもいいと思う。

総務部長）情報提供や参加の機会などを更に積極的に進めていきたいと考えている。

委員）経費的な負担も多くなるので、どうかなという思いもあるが ISO9001などを市が取得するといったことを検討したらどうか。【箇所：6-2-②】

総務部長）努力します。

4. 閉会

原部会長